

# 2019（令和元）年度 事業報告

自 2019（令和元）年4月 1日

至 2020（令和2）年3月31日

## I 事業概要

2019（令和元）年度は、通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

### 1. 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ① 愛玩動物飼養管理士などの指導者養成事業にかかる広報の拡大展開（ウェブ広告、雑誌、専門学校への周知、企業タイアップ、インフルエンサーの活用等）。
- ② 愛玩動物飼養管理士教本（1級・2級）、副教材、課題報告問題、認定試験問題、スクーリングテキスト等の質の向上に向けた改訂と刷新。
- ③ 愛玩動物飼養管理士の活動実績等の顕彰制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士制度の着実な運用。

### 2. 愛玩動物飼養管理士教育を補完する養成システムの総合的な体系づくりによる適正飼養の普及

- ① ペットオーナー検定のテキスト改訂と受験者の増加対策及び運用改善。
- ② 各種ペット関連団体を対象にした適正飼養の普及啓発活動推進のための支援事業。
- ③ 機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所への機関誌の配置。
- ④ ペットの実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリストの事業推進。
- ⑤ ペット共生住宅の整備及び管理運営方法の適正化をするための事業の推進と、ペット共生住宅管理士制度の開始。
- ⑥ 適正飼養の普及啓発指導を行うことができる人材を育成するための愛玩動物飼養管理士教育を補完するその他の各種教育事業の継続的な検討。
- ⑦ ペットの実践的飼育手法を教育する愛猫飼育スペシャリストのテキスト制作の着手。
- ⑧ ペットの実践的な飼育手法を広く啓発するための各種書籍の発刊。

### 3. 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ① 部課制に移行した事務局及び業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営とともに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するBCPの実施。
- ② 業務の効率化・合理化を図るための事務所の整備、人材会社を利用した欠員補充のシステム化及び災害時等のリスク分散を図るための諸体制の検討。

- ③ 4月1日より、支所体制から新たな体制として、活動の活性化、自由度の向上等を図るべく、本協会が全国34の都道府県に連携（独立）団体を認定し、その各々が独立した認定連携団体としての活動を開始。

## II 事業内容

### 1. 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

#### 1-1 国及び地方自治体の事業への協力

##### (1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力

###### ① 動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを動物専門学校及び各都道府県愛玩動物協会等に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

###### ② 中央行事：どうぶつ愛護フェスティバル

9月14日（土）・22日（日）に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護フェスティバル」を「共に生きる～シニアペットとシルバー世代～」のテーマのもとに開催した。

###### <屋外行事：どうぶつ愛護フェスティバル（来場者約6,700名）>

9月14日（土）に東京都台東区上野恩賜公園内噴水前広場において、次のとおり行事を実施した。また、開会のセレモニーにおいて、今年度は本協会が動物愛護宣言を担当した。

場所	内容
大テント	動物愛護セレモニー、〇×クイズ大会、犬のしつけ方教室、講演「ペットと暮らすシルバー世代の心構え」、動物のふれあい方教室、 ※「〇×クイズ大会」及び「動物のふれあい方教室」については東京都愛玩動物協会が担当して実施。

場所	内容
パネル展示コーナー・中テント	動物愛護週間ポスターコンクール入賞作品展、迷子札手作り体験コーナー、全国ペット写真コンテスト入賞作品展ほか ※全国ペット写真コンテストは本協会が実施。
ブース広場	災害対策コーナー、マイクロチップ啓発コーナー、ペット美容実演、動物相談コーナー、ペットフード等サンプリング、ブース出展者による各種展開、お絵描きコーナー、アニマルフォトスタジオ ほか
抽選コーナー	スタンプラリー

＜屋内行事：各団体表彰式、講演、パネルディスカッション（来場者 155 名）＞

9月22日（日）に台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、各団体の表彰式、講演、パネルディスカッションを開催した。また、今年度は屋内行事の会場内でも本協会主催の全国ペット写真コンテスト入賞作品展を行った。

（2）関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力  
地方自治体が実施した講習会に、次のとおり本協会が講師等を派遣した。

自治体	日程	研修会、講習会の内容
青梅市	9月20日	動物愛護週間イベント in おうめ 講演会「ペットと幸せに暮らすためのABC」
名古屋市	3月19日	名古屋市動物愛護推進員養成講習会「ボランティアとしての心構え・接遇」 ※COVID-19の影響により講演会は中止

## 1-2 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

（1）愛玩動物飼養管理士通信教育の実施

2級愛玩動物飼養管理士（39期）及び1級愛玩動物飼養管理士（35期）の通信教育を実施した。愛玩動物飼養管理士の新規受講受験申込者数は9,821名であり、前年度比は102.9%（276名増加）。最大受講受験者数があった平成19年度（12,695名）との比較では77.4%（2,874名減少）であった。

内訳は、一般/個人の新規受講受験申込者数は 3,788 名で前年度比 107.6% (268 名増加)、企業の団体新規受講受験申込者数は 58 名で前年度比 107.4% (4 名増加)、スクールの団体新規受講受験申込者数は 5,975 名で前年度比 100.1% (4 名増加)であった。

級別新規申込者数		申込枠別の新規申込者数と全体の構成比		
申込級	新規申込者数	申込枠	新規申込者数	構成比 (%)
1 級	1,495 (80)	個人申込	3,788 (1,035)	38.6% (58.4%)
2 級	7,819 (1,675)	団体申込 企業	58 (4)	0.6% (0.2%)
準 2 級	507 (18)	団体申込 スクール	5,975 (734)	60.8% (41.4%)
計	9,821 (1,773)	計	9,821 (1,773)	100%

(カッコ内は夏期申込における新規申込者数)

## (2) 2019 (令和元) 年度認定試験の実施 (11月、2月)

春期申込の試験は 11月24日 (日)、一般会場 37 会場、独自会場 13 会場、夏期申込の試験は 2月23日 (日)、一般会場 12 会場、独自会場 9 会場で実施した。

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1 級	1,674 (243)	1,561 (199)	1,184 (109)	75.8
2 級	9,267 (2,576)	8,576 (2,323)	6,708 (1,762)	78.2
準 2 級	540 (59)	526 (59)	381 (50)	72.4
計	11,481 (2,878)	10,663 (2,581)	8,273 (1,921)	77.6

(カッコ内は 2020 (令和 2) 年 2 月認定試験の内数)

## (3) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

### ① 学校法人等との協力 (指定校・採用校)

愛玩動物飼養管理士養成の新規の採用校は 1 校、新規の指定校は 0 校であり、結果として愛玩動物飼養管理士養成採用校は 115 校、このうち愛玩動物飼養管理士養成指定校は 27 校であった。

#### <新規の採用校>

鳥取県立倉吉農業高等学校

#### <参考：既存の指定校>

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園穴吹動物専門学校、学校法人宮崎総合学院宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園吉田学園動物看護専門学

校、学校法人大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー、横浜トリミングスクール、学校法人東京愛犬学園東京愛犬専門学校、学校法人高橋学園エス・ワン動物専門学校、学校法人孔明学園東北愛犬専門学校、群馬動物専門学校、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、ナンパペット美容学院、名古屋スクールオブビジネス、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

## ② 企業取りまとめによる受講受験申込

次の9社より企業取りまとめによる受講受験申し込みがあった。

### <企業>

エコートレーディング株式会社、株式会社 AHB、ジャペル株式会社、イオン九州株式会社、株式会社サンデー、株式会社ユーホー、株式会社ペティオ、西村ジョイ株式会社、株式会社3DAY

## (4) ペットオーナー検定

飼い主に対する初歩的教育及び愛玩動物飼養管理士への導入教育としての「ペットオーナー検定」を、インターネット上での申込受付、受験として実施した。動物愛護管理法の改正及び愛玩動物看護師法の制定にあわせて公式テキストの内容の見直しを行い、第3版の出版をした。これに伴い検定試験問題等についての見直しも行った。また、10月からの消費税の増税に対応した。

今年度の受験者は439名（犬コース191名、猫コース75名、犬猫同時受験173名）、テキストのみの購入者は76名であった。

なお、ペットオーナー検定受験者439名における協会会員加入者数は61名であった。また、これまでのペットオーナー検定受験者2,471名における本年度の愛玩動物飼養管理士への受講受験申込者数は552名であり、22%の導入教育効果が認められた。

## (5) ペットの実践的な飼育方法の教育

愛玩動物飼養管理士教育を補完するため、ペットの実践的な飼育方法に関する教育を実施した。犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる「愛犬飼育スペシャリスト講座」を引き続き実施した。今年度の申込者数は895（昨年度1074）名であった。これまでの申込者数の累計は3,926名で、\*合格者は2,110名となっている。\*ユーキャンの一般的な通信教育における最終段階（合格）到達率は60%内外。

なお、受講生の募集や受付、教材の発送などの業務は委託方式で実施した。  
また、「愛猫飼育スペシャリスト」のテキスト制作を開始した。

#### (6) 犬と猫との暮らしの教科書

社会全体としての適正飼養の確保及び推進を図るためには、関係する行政はもとよりペット関連産業従事者をはじめ、動物関連学校生、そして一般の飼い主向けに最新で包括的な情報の伝達と教育が重要である。このため、ペット飼育に関する広範な知識・情報を解説できるようにするための書籍として、『犬と猫との暮らしの教科書』（2,800円・税別・送料込み）を9月1日に発行した。

#### (7) ペットの飼養管理

各種動物の実践的飼養管理方法をまとめた『ペットの飼養管理』（3,600円・税別・送料込み）を発行した。一般向けへ頒布するほか、2020（令和2）年度からの2級愛玩動物飼養管理士の副教材としても活用する。

#### (8) 人と動物が共存する社会環境基盤整備

##### ① 適正な飼育環境の整備

ペットの適正飼養を推進するためには住環境等の社会環境基盤整備を図ることも重要であることを踏まえ、愛玩動物飼養管理士教育の補完を図るために、ペット共生マンションなどの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』及び集合住宅向けの『飼い主のマナーハンドブック』の頒布や、ペット共生住宅の実現を目指す広がり（動き）を支援するための「ペットフレンドリーホーム宣言（人とペットの豊かな暮らし宣言）」の募集を行った。宣言団体は現在のところ以下の13企業・団体となっている。

##### <宣言団体>

株式会社アドバンスネット、ハウスリーフ株式会社、オンコ株式会社、積水ハウス株式会社 武蔵野支店、アニコム損害保険株式会社、一般社団法人ペットライフデザイン協会、旭化成ホームズ株式会社、タマホーム株式会社、株式会社住宅工営、株式会社B-PLANNING、株式会社アパートマン、有限会社トヨミツ、一般社団法人ペットインテリア協会

##### ② 適正な飼育環境整備のための知識の普及

『ペット共生マンションの適正化推進ガイドライン』、『飼い主のマナーハンドブック』、『ペット共生住宅管理士 理論と実践』の3冊をテキストとする「ペ

ット共生住宅管理士」を6月に開講した。令和元年度における申込人数は173名、合格者は78名となっている。

- ③ ペットツーリズムにおける適正飼養の確保  
ペット・ツーリズムにおける適正飼養の確保等を図るため、昨年度に引き続いて全国ペットツーリズム推進連絡協議会の事務局運営を行った。

(9) 愛玩動物飼養管理士認定委員会・教材等

- ① 教本の編集  
2020（令和2）年度教本の再編集作業を行った。
- ② 課題報告問題・認定試験問題の編集  
最新版の認定試験問題集の中から、認定試験問題を選定し、印刷の準備を進めた。また、2020（令和2）年度教本の内容に合わせて、課題報告問題と認定試験問題の見直し作業を行った。
- ③ スクーリング  
2020（令和2）年度からのスクーリングとその教材の見直し作業を行った。

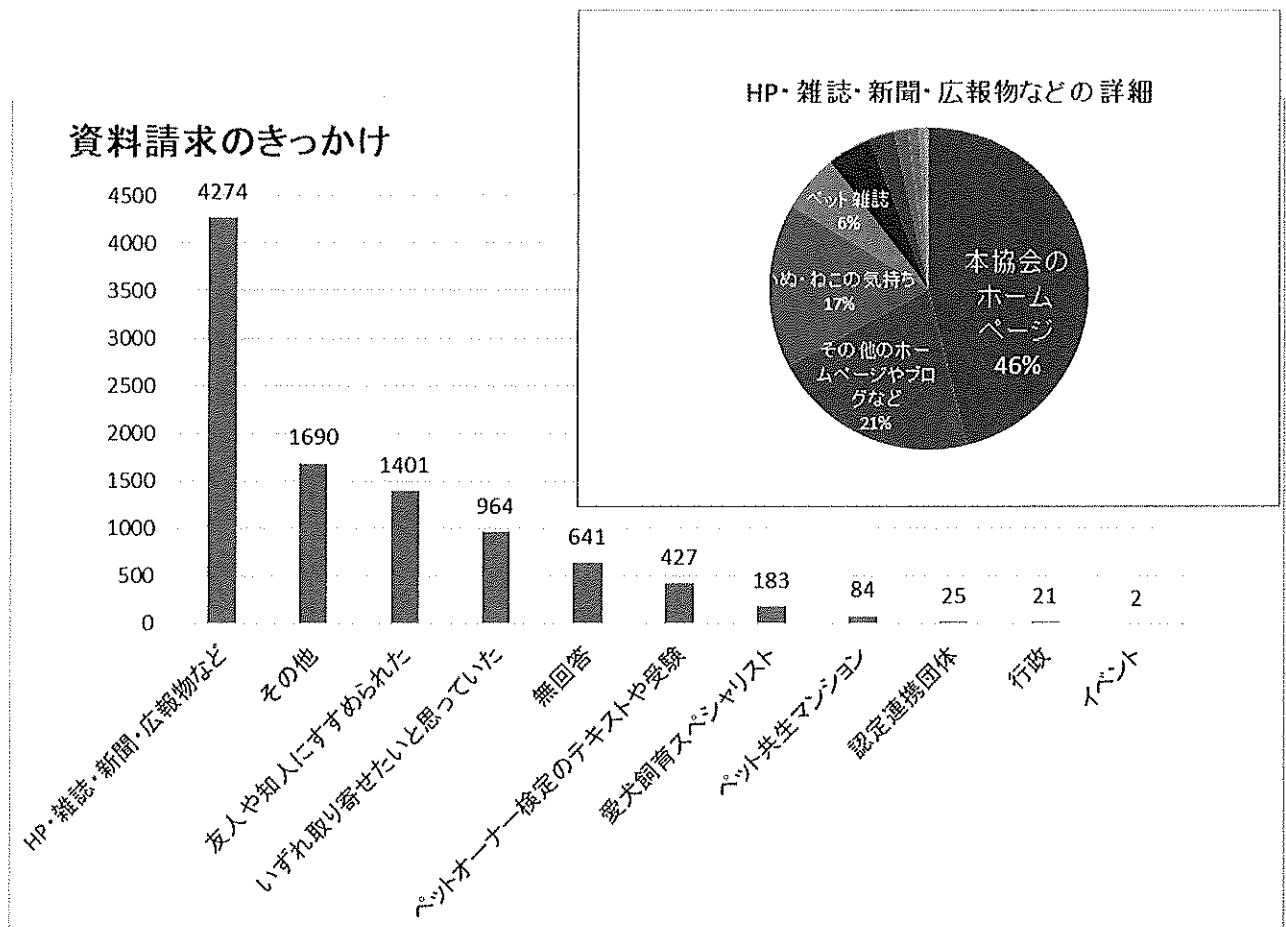
(10) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

- ① 募集要項パンフレットの新規デザインを作成。
- ② HPのコンテンツ改善とメンテナンスを適宜実行し、閲覧者に見やすく理解しやすいものへ整備をした（約20万ユーザー、約80万ページビュー）。
- ③ WEB広報として、リスティングとディスプレイ広告を継続実施することで、HPアクセス数とページビュー（PV）を増加させることで、当協会の認知度の向上を図った。
- ④ インスタグラムなどのSNSにおけるインスタグラマーの活用による口コミ戦略の実施継続や公式インスタグラムからの情報発信により、本協会や愛玩動物飼養管理士の認知の拡大を図った。（公式インスタグラム：フォロワー数378名<3月31日時点>）。
- ⑤ 2019年度から始めた新しい試みとして、すでに愛玩動物飼養管理士を取得しているインフルエンサー取材記事をペット雑誌へ継続的に掲載したり、インフルエンサーに実際に申し込みしてもらうことで、その感想をSNSに投稿いただくインフルエンサーマーケティングを実施した。
- ⑥ アフィリエイトマーケティング（成功報酬型広告）の運用を開始し、ブロガーによるの口コミ戦略を実施した。
- ⑦ リスティング広告や広告出稿先ウェブサイトからのリンク先として、愛玩動物飼養管理士についてわかりやすくまとめた「ランディングページ」を新たに設置

し、本協会ホームページへの初回訪問時にポップアップ広告を表示させることで愛玩動物飼養管理士の資料請求を容易にすることで、その数の増加を図った。

- ⑧ 人気通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP 学び」での広報の継続と、『いぬのきもち』『ねこのきもち』などのペット関連雑誌・ウェブサイトや、シニア向けフリーペーパー、建築関連の著名新聞への紙面広告を掲載した。
- ⑨ 小田急線・京王線で車両ジャックでのつり革広告などを実施。

【参考】当期の申込資料の請求のきっかけの実態データ



(11) 動物愛護管理制度のあり方に関する検討

動物愛護管理法の改正を受けて、適正飼養の普及啓発がより一層推進されるようにするための施策に関する関係機関との調整等を行った。また、愛玩動物看護師が国家資格として新設されたことによる愛玩動物飼養管理士制度の独自性、差別化などを勘案しながら、今後のあり方に関して引き続き検討した。



(12) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

ペットの適正飼養の普及啓発に関する実践的な活動の成果を顕彰するため、更新(第2期)8名と新規5名の合計13名を、上級愛玩動物飼養管理士に認定した。  
(令和2年3月31日現在での上級愛玩動物飼養管理士数 135名)

1-3 調査研究及び情報の収集、提供

閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学術論文等の収集と提供を行った。

1-4 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) 電話やメールによるペット飼養相談の受付

電話やメールなどによるペット飼養に関する相談への対応を15件行った。

(2) 第39回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第39回全国ペット写真コンテスト」を実施した。また、今年度より、インスタグラムによる応募も受け付けを開始した。

環境省、(一社)ジャパンケネルクラブ、(一社)ペットフード協会の後援のもとで実施し、556点の応募作品(応募者数231名)より13点の入賞作品が審査会において選出された。

上位入賞者表彰式は9月22日(日)に中央行事屋内会場(台東区生涯学習センターミレニアムホール)において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを贈呈した。また、入賞作品は、屋内会場および9月14日(土)開催の屋外行事会場(上野恩賜公園内噴水前広場)に展示した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	ハナ、今までありがとう!	勝見 淳	5万円
推選 (ジャパンケネルクラブ賞)	相棒	忽那 博史	3万円
推選 (ペットフード協会賞)	ボクたちもお友達だよ!!	田頭 裕子	3万円

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
推選（日本愛玩動物協会賞）	愛猫四代目そぼろ君	長谷川 健一	3万円

なお、過去の入賞作品パネルについては、全国の動物愛護週間行事で展示される等の活用が図られた。展示先は次のとおりである。

・鹿児島県、郡山市、千葉県愛玩動物協会、長野県愛玩動物協会

### 1-5 調査研究活動への助成

2019年度助成対象者（計3件、115万円）への助成を行った。

研究名	氏名	所属	金額
猫の飼育環境が猫ひっかき病の病原体保有に及ぼす影響の検討	梅田 薫	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤 研究所	40万円
中国のペット産業と中国人の愛玩動物の飼育実態と意識の変化	汪 斐然	日本大学 生物資 源科学部	30万円
動植物の飼育・栽培が一体化した小学校生活科学習プログラムの開発	森 太郎	国立大学法人 滋 賀大学 教育学部	45万円

また、2020年度助成対象者の審査会を開催し、以下のとおり助成候補を選定した。

研究名	氏名	所属	金額
愛玩鳥の餌における真菌感染の状況からみるペットフードの安全性担保	佐々 悠木子	東京農工大学	50万円
ペット信託に関する法律の日米比較	吉田 聡宗	一橋大学大学院法 学研究科	50万円

### 1-6 機関誌等図書印刷物の刊行

#### (1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

機関誌（隔月発行）を作成して会員に配布するとともに、関係自治体や全国の図書館への寄贈を行った。なお、各号の特集テーマは次のとおりである。

号	テーマ
267号（5月号）	ペットの死を考える
268号（7月号）	犬特集 前編 犬を知る

号	テーマ
269号(9月号)	犬特集 後編 犬の適正飼養
270号(11月号)	ペットとお出かけ特集 ～ペットツーリズムの今を探る～
271号(1月号)	改正 動物愛護管理法と愛玩動物看護師法
272号(3月号)	写真で見る「適正飼養」の風景

(2) 啓発パンフレット等の作成、頒布

次のとおりパンフレット等を作成、頒布した(○×クイズは全面改訂した4種を8月末より頒布開始)。

種別	部数
ポスター	800部
リーフレット	46,500部
書籍カタログ	1,000部
ウサギの飼い方	1,900部
人と動物の防災を考えよう	12,100部
いざというときのために ペットと被災したら	14,600部
被災ペットの救護活動ガイドライン ーボランティア活動をされる皆様へー	2,800部
旧○×クイズ 緑(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	2,000部
旧○×クイズ 青(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	1,900部
旧○×クイズ ピンク(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	1,000部
新○×クイズ 緑(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	5,100部
新○×クイズ 青(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	5,100部
新○×クイズ オレンジ(問題裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	6,200部
新○×クイズ 黄 問題(裏面:ペットオーナー検定告知チラシ)	7,600部

## 1-7 会員

会員の新規募集及び継続入会の呼びかけを行い、本会計年度末での一般会員数は、個人会員が11,818人（昨年度末より150人増加）、団体会員が27団体（昨年度より1団体増加）であった。

なお、会員特典は次のとおりである。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	株式会社インターズー
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリミング・ペットホテル料金の割引	株式会社西武ペットケア
「休暇村」の本館、コテージ、キャンプ場利用料の割引	休暇村協会
全国のプリンスホテルの施設（ホテル・ゴルフ場・スキー場など）の優待利用	プリンスホテル
年会費の税額控除	内閣府
富士急行株式会社関連施設利用料の割引	富士急行株式会社

## 1-8 寄付金

協会のホームページ等を利用した寄付金募集及び税額控除に関する書類の発行作業を実施した。通期における寄付金は102,800円であった。

## 1-9 認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）等の各種プロジェクト活動への支援

### （1）認定連携団体（各都道府県愛玩動物協会）

2019（令和元）年4月1日より、従前の支所体制から、（公社）日本愛玩動物協会が認定と支援をする認定連携（独立）団体として体制を変更。その活動への支援を以下のように実施した。

団体名	所在地	分野	支援金額
全国34認定連携団体（※）	全国34都道府県	当協会定款第4条に定める事業の一部を都道府県単位で展開	36,543,826円

※ 34 認定連携団体の認定状況

2019年（令和元）年4月1日始動時点

ブロック	認定連携団体のある都道府県
北海道・東北 (5)	北海道、青森県、宮城県、秋田県、福島県
関東 (6)	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部 (6)	富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、愛知県、
近畿 (5)	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県
中国・四国 (7)	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 (5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計： 6ブロック／34団体	
認定連携団体のない府県(13)：	
岩手県、山形県、栃木県、新潟県、静岡県、岐阜県、京都府、 兵庫県、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、大分県	
年度中に解散をした認定連携団体 (3)： 香川県、滋賀県、石川県	

また、以下の支援も行った。

① 認定連携団体ブロック会議

各都道府県協会の始動段階での運営状況について、各代表と業務執行理事とで意見と情報の交換をするための、全国5都市（東京、名古屋、大阪、福岡、札幌）におけるブロック会議を7月下旬から8月下旬の間に開催した。

② 認定連携団体向けに「活動事例集」および「運営の手引き」の作成

独立団体である認定連携団体への活動促進および支援として、両冊子の編集作業を各代表者の意向を盛り込み、各認定連携団体へ配布をした。

③ 認定連携団体代表者会議

11月15日（金）13：00～17：00の日程でTKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京）において、全国の認定連携団体の代表者を対象とした会議を開催した。ブロック会議における意見交換のまとめおよび今後の連携団体の運営について各代表に説明し質疑応答を行った。

④ 協力会員のボランティア保険への加入

協力会員1,611名の加入手続きを行った。

⑤ 協力会員の募集と登録業務に協力をした。

## (2) その他の団体

次のとおり、支援対象事業（計2件・718,315円）を決定し、支援を実施した。

団体名	所在地	分野	支援金額
わうくらす	和歌山県海南市	飼い主教育・所有者明示・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	419,000円
ナチュラルドッグスタイル	東京都港区	若年層向けペットとの触れ合い講習	299,315円

また、2020年度支援対象事業の選考を行い、以下のとおり支援候補を選定した。

わうくらす	和歌山県海南市	飼い主教育・公衆衛生・災害時対策・ペットとのふれあい・その他	444,000円
-------	---------	--------------------------------	----------

## 2. その他本協会の目的を達成するために行った事項

### (1) 関係団体との情報交換等の実施

関係団体と適正飼養の普及啓発事業に関する情報の交換を行った。

### (2) 公益検討会

2月5日に当協会において、椎野雅博相談役、西村尚一相談役、山崎いく子顧問、大矢秀臣全日本動物輸入業者協議会事務局長を招き、本協会が果たすべき公益活動の考え方について、中・長期的な観点から検討する会を設けた。

### (3) 「第31回日本動物児童文学賞」への審査協力

(公社)日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から役員が審査員として協力をした。

### (4) 協会の理事及び職員が関係する外部会議及び行事

(※は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為中止)

会議等の名称	関係者・出席者
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物愛護週間中央行事实行委員会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員

自民党どうぶつ愛護議員連盟総会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会総会	協会本部役員
家庭動物飼育環境健全化検討委員会	協会本部役員
動物 ID 普及推進会議 (AIPO)	協会本部役員 (*)
日本動物児童文学賞審査委員会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会 動物感謝デー企画検討委員会	協会本部役員 (*)
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員
各指定校の評議員会等	協会本部役員 (*)
環境省中央環境審議会動物愛護部会	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

(5) 各種行事への後援等

名称	開催時期	開催地	主催
第 81 回チャボ全国品評会	4 月 21 日 ※後援したが開催中止	東京都	全日本チャボ保存協会
JAHA 家庭犬のしつけ方講座 ベーシックコース	7 月 6 日・7 日、8 月 3 日・4 日・24 日・25 日、9 月 7 日・8 日	東京都、 大阪府	公益社団法人日本動物病院協会
WJVF 第 10 回大会	7 月 12 日～14 日	大阪府	(一社) 日本臨床獣 医学フォーラム・ (公社) 日本動物病 院協会
軽井沢ドッグツーリズム推進 プロジェクト	8 月 1 日	長野県	一般社団法人軽井沢 観光協会
2019 年度 動物愛護週間行事 (沖縄県)	9 月 20 日～26 日	沖縄県	沖縄県
ペットスケッチコンクール	9 月 20 日～26 日	福岡県	福岡県
動物愛護フェスティバル 2019 インあづみ野	9 月 23 日	長野県	動物愛護フェスティ バル 2019 インあづみ 野実行委員会

名称	開催時期	開催地	主催
2019 動物感謝デーin JAPAN"World Veterinary Day"	10月5日	東京都	公益社団法人日本獣医師会
日本身体障害者補助犬学会第12回学術大会	10月5日～6日	東京都	日本身体障害者補助犬学会
JAHA 年次大会 2019	10月13日～14日	東京都	公益社団法人日本動物病院協会
神戸市動物愛護フェスティバル	10月22日	兵庫県	神戸市動物愛護フェスティバル実行委員会
ほりかわ祭 2019	10月26日	京都府	Y I Cペット総合専門学校
動物介在プログラム 基礎講習会	10月26日～27日	東京都	一般社団法人優良家庭犬普及協会
ペットインテリア展「ワンルームだニャ～」	11月13日～15日	東京都	一般社団法人 ペットインテリア協会
第8回ペットとの共生推進協議会シンポジウム	11月17日	東京都	ペットとの共生推進協議会
ちよだ猫まつり 2019	2月15～16日	東京都	ちよだ猫まつり実行委員会
インターペット 2020《中止》	3月26～29日	東京都	(一社) ペットフード協会、(一社) 日本ペット用品工業会、メッセフランクフルトジャパン株式会社

#### (6) 受賞

##### ① 2019（令和元）年度の動物愛護管理功労者表彰（環境大臣）

- 椎野 雅博 相談役が受賞

##### ② 2019（令和元）年度の動物愛護功労者表彰（石川県）

- 本協会の認定連携団体である石川県愛玩動物協会が受賞



③ 2019（令和元）年度の動物愛護功労者表彰（千葉県市川市）

■ 本協会の認定連携団体である千葉県愛玩動物協会が受賞

3. 組織、会員、会議等

3-1 組織

(1) 役員

<（常）＝常勤 >

役員 (12名)	代表理事(1名)	会 長	東海林克彦 (常)
	業務執行理事 (3名)	副会長	安部正弘
		常務理事	水口修 (常)、武田和彦
	理事(6名)		浅野明子、荒井延明、池田毅、対馬美香子、林谷秀樹、平山淳
	監事(2名)		藤澤省二、岡崎留美

(2) 相談役、顧問

相談役(4名)	経徳禮文、鈴木松衛、西村尚一、椎野雅博
顧問(14名)	北村直人、猪俣治太郎、臼井玲子、内田美由紀、大島誠之助、川口和清、斉藤久美子、鈴木 登、天川九二夫、花澤公子、畠山雅子、福田真由美、山崎いく子、山田広美

(3) 委員会

① 愛玩動物飼養管理士認定委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 荒井延明、臼井玲子、宇山理奈、大島誠之助、四宮勝之、対馬美香子、山崎恵子

② 実践的飼育方法教育委員会委員

委員長 林谷秀樹

委 員 臼井玲子、藤井仁美

③ 調査研究助成委員会委員 (委員名は非公開)

## (4) 事務局役職員数

(単位：人)

&lt;その他の職員&gt;

区 分	年度当初	増 加	減 少	年度末
役員 (常勤)	2	0	0	2
職員	8	0	0	8
計	10	0	0	10

※ 派遣職員 1 名 (増減なし)

## 3-2 会員数

単位：人・団体数 ( ) 内は昨年度比

会員数		2019 (令和元) 年度末	2018 (平成 30) 年度末
正会員	個人	72 (△4)	76
	団体	7 (△2)	9
個人一般会員		11,818 (+150)	11,668
団体一般会員		27 (+1)	26
名誉会員		0	0

## 3-3 会議の開催状況

## ① 社員総会

会議名	開催日	審議事項
第10回定時社員総会	6月14日(金)	平成30年度事業報告の件、平成30年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録の件、役員報酬等の総額の件

## ② 理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回定例理事会	5月20日(月)	平成30年度事業報告及び決算について(社員総会附議事項)、業務執行報告について

会議名	開催日	審議事項
		て、地方協会（連携団体）について、スクーリングについて
第2回定例理事会	9月2日（月）	愛玩動物飼養管理士教本の再編集及びスクーリングについて、規程の改正について、正会員について
第3回定例理事会	11月8日（金）	上半期の事業報告及び決算等について、業務執行報告について、愛玩動物飼養管理士の認定および調査研究助成の追認、会員関係規程の改正等について、諸謝金規程の改正について
第4回定例理事会 （書面決議）	3月24日（火）	愛玩動物飼養管理士認定試験の合否判定について、令和2年度事業計画および予算について、令和2年度定期社員総会の開催について、資産取得資金について、適正飼養推進プロジェクト支援・調査研究助成について、上級愛玩動物飼養管理士認定基準細則の別表修正の件、監査監事規程の件

③ 業務執行理事会

会議名	開催日	審議事項
第1回業務執行理事会	4月19日（金）	平成30年度事業報告及び決算について、地方協会（連携団体）について、スクーリングについて、理事会の議事について
第2回業務執行理事会	5月10日（金）	平成30年度事業報告及び決算について、地方協会（連携

会議名	開催日	審議事項
		団体) について、スクーリングについて
第3回業務執行理事会	6月7日(金)	総会について、地方協会(連携団体)の代表者会議について、法改正への対応について、教本の再編集について
第4回業務執行理事会	7月25日(木)	認定連携団体の代表者ブロック会議について、認定連携団体の活動の拡充について、旅費規程等の改正について、役員報酬規程の改正について、教本の再編集について
第5回業務執行理事会	8月23日(金)	愛玩動物飼養管理士教本の再編集及びスクーリングについて、旅費規程の改正について、地方協会のブロック会議について、理事会の次第について
第6回業務執行理事会	10月4日(金)	役員報酬規程の改正について、正会員関連規程の運用について、動物取扱責任者研修会業務の受託について、ペット災害対策推進協会の解散について、次回の理事会の議事について
第7回業務執行理事会	11月8日(金)	上半期の事業報告及び決算等について、業務執行報告について、会員関係規程の改正等について、諸謝金規程の改正について、役員報酬関係規程の改正について
第8回業務執行理事会	12月5日(木)	愛玩動物飼養管理士認定試験の合否判定について、資産取得資金について、次年度以降の事業について

会議名	開催日	審議事項
第9回業務執行理事会	1月10日(金)	資産取得資金について、愛玩動物看護師法について、次年度の役員等について
第10回業務執行理事会	2月5日(水)	愛玩動物看護師法について、次年度の役員等について、次回の理事会の議事について
第11回業務執行理事会	3月18日(水)	愛玩動物飼養管理士認定試験の合否判定について、令和2年度事業計画及び予算について、令和2年度定期社員総会の開催について、適正飼養推進プロジェクト支援について、認定連携団体の実費弁償方式申請について、次年度の役員等について、役員報酬関係規程について、コロナウイルス対策について、次回の理事会の議事について

④ 各種委員会

委員会名	開催日	審議事項
第1回愛玩動物飼養管理士認定委員会	6月17日(月)	来年度のスクーリングについて
第2回愛玩動物飼養管理士認定委員会	10月17日(木)	来年度のスクーリングについて、今後のスケジュールについて、2020(令和2)年度課題報告問題・認定試験問題の作成について
第3回愛玩動物飼養管理士認定委員会	11月28日(木)	認定試験の合格者の決定について、2020(令和2)年度の教本と課題報告問題の最終確認について、2020(令和2)年度認定試験の分野別出題数について、愛玩動物看護師について

委員会名	開催日	審議事項
第4回愛玩動物飼養管理士認定委員会	2月27日(木)	認定試験の合格者の決定について、2020(令和2)年度の教本の点検作業の分担について、2020(令和2)年度の教本の点検について
第1回調査研究助成等委員会	12月2日(月)	2018(平成30)年度助成対象者結果報告、2020(令和2)年度調査研究助成申請者審査会
第1回ペットの実践的飼育方法に関する教育事業の企画検討委員会	2020(令和2)年2月27日(木)	「愛犬飼育スペシャリスト」の実施状況について、「愛猫飼育スペシャリスト」の教材作成の開始について

### Ⅲ 事業報告の付属明細書

2019(令和元)年の事業報告の付属明細書は、補足すべき重要な事項がないことから、作成をしていない。

以上